

晩秋の八王子・高尾

先日の百草園に続いて八王子市高尾駅西の武蔵陵と甲州街道の紅葉・黄葉を求め、WINGSの仲間と出かけた。仲間全員の行いが良いのであろう、昨年の平林寺同様に快晴に恵まれた。荻窪駅朝9時8分発のJR中央線快速に乗り1時間ほどで高尾駅着。10時集合・出発の予定時刻に合わせて改札前に全員健康そうな様子で集合。挨拶もそぞろに改札を出て、北方向へウォーキング開始。

すぐに甲州街道との交差点を通過。



甘里町交差点 = トドリとなぜ読めるだろうか



高尾街道の陸橋



甲州街道との交差点

東浅川を渡り、甘里町交差点を右折。この町名を正確に読める人がいたら尊敬したい。なんと トドリチョウと読むのだ。中央線・甲州街道・東浅川は西から東へと並行している。



100m弱高尾街道に沿って進む



東浅川の流れ、左手の小山が武蔵陵

道なりに進んで行くと、高速道路に似た高尾街道の陸橋が見えて来る。

?



陸橋下を左折、目印の十月桜

陸橋下をくぐるとコンクリートの立て格子柵が左手に続く。充分に手入れの行き届いた、緑地が続いている。すでに武蔵陵の敷地に沿って歩いている。



武蔵陵(ムサシミササギと読む)沿いの紅葉



山茶花は、そろそろ花時期を終えようとしている

小さな裏門が見えるがここからは入園できない。道の先に円形の上にチタン吹きの警備交番が見えて来る。警察官が櫟の落ち葉を掃きながら、「ご苦労様」と声を掛けたら、「いくら履いても限りがないんですよ」と訴える。右手には参道のケヤキ並木が、左手には武蔵陵の正門が見える。正面の山懐には黄葉した雑木林が迎えている。



紅葉・黄葉した雑木林



櫟の枯葉を掃く警官殿 「ご苦労様」



武蔵陵案内表示 = 大正天皇・同皇后・昭和天皇・同皇后陵



武蔵陵案内図



入口右手の紅葉

武蔵陵の入り口は、伊勢神宮のそれを想像させるに十分なオーラを感じさせる。参道の両側には北山杉の林が続き、清閑な空気が漂う。



大正天皇陵への参道 = 両側は北山杉



杉林と木洩れ日



参道右手の小池に面した紅葉 - 1



参道の一番西奥右手に大正天皇陵が



参道右手の小池に面した紅葉 - 2



大正天皇陵 = 前方後円墳

参道横の杉林に陽が当たり木漏れ日が雰囲気をさらに演出する。

大正天皇陵は多摩御陵と呼ばれ、昭和天皇が葬られてから武蔵陵と名前が変わっている。西奥手から、大正天皇・同皇后・昭和天皇・同皇后の順で東方向に並んでおり、石で表面を覆った前方後円墳となっている。十分に管理されていて、流石に日本国の首長の墳墓であることを感じつつ、お参りさせて頂いた。



大正天皇陵近景



大正天皇陵右手の紅葉



昭和天皇陵



大正天皇皇后陵 = 大正天皇の右手に



参道左手に植えられている吉祥草



大正天皇皇后陵近景



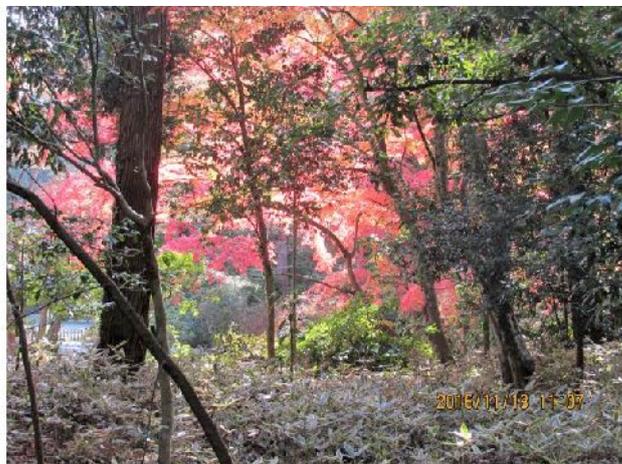
昭和天皇陵



昭和天皇陵左手の黄葉



昭和天皇武蔵野陵近景



正門への参道南側の木洩れ日を浴びて輝く紅葉



昭和天皇武蔵野陵近景



正門手前の参道を覆う紅葉



香淳皇后武蔵野陵



正門手前の参道を覆う紅葉



正門への参道南側の紅葉



同上紅葉を見上げる



今歩いて来た参道を見返す

武蔵陵正門を出て東に続く参道には、櫟の並木が延々と続いている。両側の歩道には、ドウダンツツジがこれもまた延々と続き、歩道から車道への侵入を難しくしている。櫟並木に守られているせいかこの季節に成ってもドウダンツツジは紅葉してくれてはいない。



武蔵陵参道櫟並木



ドウダンツツジに守られた歩道

参道途中から南手にある都立陵南公園に入って行く。明日から始まる、八王子銀杏祭りの準備が進み、グラウンドには子供を乗せる小型列車が、売店用のテントが張り廻らされている。



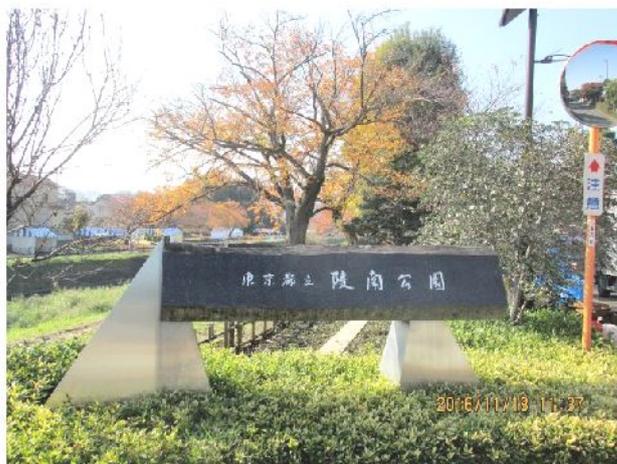
都立陵南公園グラウンドとテントの列



陵南湖園内の櫟の黄葉



陵南公園の南側を流れる東浅川 = 両岸には桜並木が



都立陵南公園の表示